

# 八潮市次世代育成支援行動計画の実施状況

(平成17年度末現在)

子育て支援課

# 基本目標 1 安心して子育てするために

## 主要課題(1) 地域における子育て支援の充実(P35)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 一時保育事業	保護者の急病・急用時及び保護者のリフレッシュにより児童の保育が困難になったときの一時保育事業を実施します。	子育て支援課	平成19年度に開設予定の駅前保育ステーションにおける一時保育事業の実施に向け、検討を行った。	最も効果的な運営方法を検討する。
2 預かり保育事業	市内の私立幼稚園において教育時間の前後に園児を預かる預かり保育事業を促進します。	教育総務課	市内6幼稚園すべての幼稚園において預かり保育を実施した。 (利用者のべ人数 11,107人(4園のみの合計)2園については実績数把握していないため。)	各幼稚園における預かり保育事業を促進していく。
3 子育て家庭への相談事業	子育てや子どもの発達、就学に関することなど、家庭児童相談室、保育所、保健センター、教育相談所などにおける子育て家庭への相談事業の充実に図ります。	健康増進課	各種相談を実施した。 ・乳幼児相談12回 928人 ・すこやか相談:24回 149人(延) ・電話等による育児相談は随時実施	継続して実施していく。
		子育て支援課	家庭児童相談室では、年間532件の児童相談を受付し子育て支援を実施した。	継続して実施していく。
		子育て支援課	子育て電話相談事業(中央保育所内で保育士が対応)を実施し、13件の相談を受けた。	引き続き電話による相談事業を実施する。
		指導課	就学指導委員会を3回実施した。就学相談の研修に努め、22ケースの判断を行った。	引き続き、就学相談の一層の充実に努めていく。
4 幼稚園における教育相談事業	市内の私立幼稚園における教育相談及び子育てに関する情報の提供を促進します。	教育総務課	市内6幼稚園中、相談等を実施した幼稚園は4園であった。相談の日等を設けたり、広報誌を発行したり、あるいは個々の要望等に応じて実施した。	各幼稚園における教育相談事業を促進していく。

5	<p>広報紙及び市ホームページでの情報提供</p> <p>様々な子育て支援情報を提供するため、広報紙やホームページにおける情報の充実を図ります。</p>	<p>広聴広報課</p> <p>広報紙や市ホームページに子育て支援情報を随時掲載した。</p>	<p>継続して掲載していく。</p>
		<p>子育て支援課</p> <p>市ホームページの「子育て支援」のコーナーで様々な子育て支援情報を市民に提供した。また、市広報紙のふれあい福祉コーナーで子育てに関する記事を掲載した。</p>	<p>引き続き情報提供の充実を図っていく。</p>
		<p>健康増進課</p> <p>広報で毎月「すこやかカレンダー」を掲載し、またH18年度健康だよりを発行した。</p>	<p>継続して実施していく。</p>
6	<p>子育てサークルの育成</p> <p>子育てサークルの活動を支援し、サークルの育成を図ります。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>子育てサークルの活動状況を把握し、市民に周知した。</p>	<p>引き続き情報提供の充実を図っていく。</p>
7	<p>活動団体の相互連携及び団体・行政のネットワークの構築</p> <p>行政と子育てサークル等関係機関のネットワーク化について検討を行います。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>子育てサークルの活動状況を調査し、把握を行った。</p>	<p>行政と子育てサークル等とのネットワーク化に向け、関係各課との協議を進めていく。</p>
8	<p>民生委員・児童委員、主任児童委員の活動支援</p> <p>民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援します。</p>	<p>社会福祉課</p> <p>八潮市民生委員児童委員協議会に対し財政的支援を行った。</p>	<p>八潮市民生委員児童委員協議会に対し財政的支援を行う。</p>
9	<p>ファミリー・サポート・センター事業</p> <p>育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員となり援助を行う会員組織の充実を図るとともに、会員の資質の向上を図るための研修等を行います。</p>	<p>子育て支援課</p> <p>説明会3回(12名参加)、講習会4回(23名参加)、意見交換会1回(10名参加)、ステップアップ講習会1回(16名参加)、全体交流会1回(17名参加)を実施した。</p>	<p>引き続き実施し、会員組織の充実を図っていく。</p>

主要課題(2) 親と子の健康と福祉の充実(P37)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 妊産婦の健康づくりの推進	妊産婦の健康の保持増進を図るため、健康相談や健康教育を実施します。特に仲間づくりや父親の育児参加をすすめ、子育てに伴う喜びを実感できるよう支援していきます。	健康増進課	パパ・ママ学級を12回開催し、191人の参加があった。(日曜日開催をH16年度の6回から回数を増やして実施している。)また、プレママサロンを12回開催し、延105人の参加があった。	継続して実施していく。
2 育児支援家庭訪問事業	出産後間もない時期や、様々な原因で子どもの養育が困難になっている家庭に対して、育児・家事の支援や、具体的な育児に関する助言を行うことにより、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。	健康増進課	県共催事業「ママサポートシステム開発普及モデル事業」(H16年度～H17年度まで)実施した。虐待予防の視点から、リスクの高いケースをアンケートにより早期把握し母親の支援を行った。 <実施結果> 保健師による訪問:65人(実)98人(延) (実人員内訳:妊婦4人 保護者27人 乳児29人 幼児5人) 来所・電話相談:201件 (妊婦及び保護者)	妊娠届出時のアンケートを継続実施し、早期からの支援を行うとともに、今までの実績を踏まえ本事業の実施について関係課と検討する。
		子育て支援課	育児・家事の支援のため、「2020テレフォン」等事業の紹介を行った。	引き続き実施していく。
3 母子保健訪問指導の推進	妊産婦や乳幼児の健康の保持増進を図るため、新生児、乳幼児の家庭訪問を充実し、育児不安の軽減を図ります。	健康増進課	助産師による新生児・妊産婦訪問(新生児52人、乳児22人、産婦68人)を行った。また、保健師による訪問(妊産婦9人、新生児19人、乳児73人、幼児47人(延人数))を実施した。	継続して実施していく。
4 乳幼児の健康づくりの推進	疾患や障害の早期発見と早期治療・療育につなげるため、母子保健法で定められた4か月児、1歳6か月児、3歳児の各健康診査の充実を図ります。また、定期予防接種や乳幼児相談、子どもの健康問題等についての健康教育を実施します。	健康増進課	・4か月児健康診査: 委託医療機関 582人(87.3%) ・1歳6か月児健康診査: 12回 677人(91.6%) ・3歳児健康診査: 12回 635人(85.3%) ・定期予防接種:接種者総数4850人 ・乳幼児相談の実施	継続して実施していく。

5	すこやか相談の充実	発育発達等が心配な乳幼児を対象に小児発達専門医、臨床心理士、言語聴覚士等の専門職による相談を実施し、発達障害の早期発見、早期支援に努めます。	健康増進課	すこやか相談を24回実施し、延べ149人の相談を受けた。	継続して実施していく。
6	救急医療支援事業の充実	初期診療である休日診療の実施とともに、東部5市1町における小児の第二次救急医療の確保に努めます。	健康増進課	休日診療所は1487人の利用があった。また第二次救急医療は小児救急病院5か所が指定されている。	継続して実施していく。
7	八潮市母子愛育班連合会の育成・活動支援	母子の健康づくりを推進している八潮市母子愛育班連合会の活動を支援します。	健康増進課	役員会、各地区錬成会に保健師が参加し、活動を支援した。(役員会・錬成会18回 班員(延)200人)	継続して実施していく。
8	心身障害児訓練施設「のぞみ」の充実	心身の発達に障害や遅れのある子どもを対象に、専門職による日常生活に必要な基本動作の指導や訓練を行うため、心身障害児訓練施設「のぞみ」における療育機能の充実を図ります。	子育て支援課	待機児童を解消するため、現行の許可児童(定員)20名に加え外来児童(許可児童以外)を対象に通所指導として月1回「わかばの日」を設け、のぞみ職員で療育日として親子ふれあい遊びを実施し、受け入れ人数を12名(午前6名・午後6名)拡大した。年間では許可児童が20名で延べ1,350名、外来児童が31名で延べ176名に対し療育訓練指導を実施した。	許可児童と外来児童のバランスに配慮しながら療育通所希望者の需要に応えていく。

主要課題（3） 児童虐待防止対策の推進（P39）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 児童虐待防止の啓発	虐待の早期発見及び適切な初期対応を行うため、市民に対し、広報等により児童虐待防止の啓発の充実を図ります。	子育て支援課	児童虐待の防止を図るため、広報やしお（NO660平成17年11月10日）に虐待の通報や身近な相談窓口を掲載した。	継続して実施していく。
		指導課	児童虐待防止のための指導事例集をもとに、教員の指導力、早期発見や対応力の向上について研修を行った。学校との情報を共有し、連携を図った。	今後は、学校、担当課との連携を一層図り、必要に応じて、サポートチームを結成していく。
2 虐待相談体制の充実	保健・医療・福祉・学校等関係機関との連携を図り、虐待に関する相談体制を充実していきます。	子育て支援課	「八潮市児童虐待防止ネットワーク会議」を廃止、対象とする児童の範囲を児童虐待から全ての要保護児童とし、平成17年7月「八潮市要保護児童対策地域協議会」を設置した。	継続して実施していく。
		健康増進課	「ママサポートシステム開発普及モデル事業」の一環で市内4か月児健康診査委託医療機関医師及び草加保健所と虐待予防について意見交換会を実施した。	継続して実施していく。
3 虐待関係機関のネットワーク体制の強化と要保護児童対策地域協議会の設置	児童虐待問題に適切に対応できるよう関係諸機関との連携を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置し、子どもや家族への最適な支援・援助の方法を講ずるとともに、虐待の未然防止や再発防止に努めていきます。	関係各課	八潮市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議及び実務者会議を年1回、個別ケース検討会議を年7回実施した。	継続して実施していく。
4 DV庁内担当者連絡会議との連携・強化	DV庁内担当者連絡会議と虐待対策との連携・強化を図り、虐待の早期発見・予防に努めます。	子育て支援課	婦人相談は年間19件でその内DV相談が11件、県婦人相談センターに3件、児童養護施設に1件保護した。	継続して実施していく。
		男女共同参画課	DV庁内担当者連絡会議を4回開催し、事例による意見・情報交換等を行なった。また、相談者へは両課連携を密にし対応した。	平成17年度同様に実施予定。

5 女性相談事業 の充実	専門相談員による女性を対象としたカウンセリング及び心のケアに努めます。	男女共同参画課	毎月第1・3水曜日、午前10時～4時、予約制による相談を行った。(実施日23日、相談件数49件)	平成17年度同様に実施予定。
-----------------	-------------------------------------	---------	--	----------------

主要課題（４） 経済的支援の充実（P41）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 児童手当支給事業	小学校3年生以下の児童を養育する保護者に対し、児童手当を支給します。	子育て支援課	平成17年度末現在受給者数は、4,817人。平成17年度は、延べ68,973件に合計393,915,000円を支給した。	平成18年4月1日から支給対象年齢が小学校修了前までに拡大され、併せて所得制限の緩和も行われる。
2 児童扶養手当支給事業	子どもを養育している母子家庭の親に児童扶養手当を支給します。	子育て支援課	平成17年度末現在受給対象者数は、586人。平成17年度は、延べ7370件に合計300,886,600円を支給した。	継続して実施していく。
3 ひとり親家庭等医療費支給事業	子どもを養育しているひとり親家庭の親等に対し、医療費を支給します。	子育て支援課	平成17年度は、6,665件に合計18,401,112円を支給した。	継続して実施していく。
4 乳幼児医療費支給事業	乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、通院分は5歳まで、入院分は小学校就学前までの乳幼児医療費を支給します。	子育て支援課	平成17年度は、68,712件に合計134,268,657円を支給した。	継続して実施していく。
5 私立幼稚園の就園助成事業	保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園児保護者に対して就園奨励費及び就園助成金を支給します。	教育総務課	平成17年度就園奨励費補助及び就園助成金補助を行った。 就園奨励費 1,048人 74,746,600円 就園助成金 195人 2,925,000円	就園奨励費補助金については平成18年度から、補助単価を決定する際のランク付け第2子以降の条件が、同時就園から小学校1年生に緩和される。（第2子の方が補助単価が高い。） また、就園助成金については1人あたりの補助単価を平成18年度から15,000円から18,000円に引き上げる。



## 基本目標 2 子育てと仕事を両立させるために

### 主要課題(1) 保育サービスの充実(P43)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 通常保育事業	保護者の就労又は疾病等により、日中家庭における保育ができない児童を対象に、保護者に代わって保育を行います。	子育て支援課	市立保育所7か所において保育を行った。	平成18年度から民間の認可保育所が開所となり、8か所で保育を実施していく。
2 延長保育事業	保護者の就労形態等により、長時間保育を必要とする児童に対し、延長保育を実施しています。さらに今後の需要に応じて延長保育の実施箇所を増設するとともに、保育時間についての検討を行います。	子育て支援課	中央保育所及び南川崎保育所で7時から19時までの保育を行っている。	平成18年度から認可された民間の認可保育所においても延長保育を実施し、計3か所で7時から19時までの保育を実施していく。
3 休日保育事業	就労等で休日に保育を必要とする人に対応するため、休日保育の実施を検討していきます。	子育て支援課	実施について検討。	引き続き検討していく。
4 駅前保育ステーションの整備	多様な保育ニーズに対応するため保育ステーションを設置し、一時保育及び低年齢児を対象とした通常保育等を行います。	子育て支援課	平成19年4月の開設に向け、建設工事が進められている。	開設に向けた準備を行っていく。
5 障害児保育事業	現在、南川崎保育所では、職員の専門性を図りながら、障害児クラス「ばら組」の保育を実施しています。今後、障害があっても集団保育が可能な児童に対し、全保育所で保育ができる体制を目指します。また、専門職による個別指導の充実を図ります。	子育て支援課	南川崎保育所「ばら組」での障害児保育を実施した。また、保育所入所児童と保護者を対象に専門家による障害児保育個別指導を実施した。	引き続き障害児保育を実施していく。また保育体制を整備し、集団保育が可能な児童の受け入れの拡大について検討する。
6 保育施設の安全確保	計画的な修繕を行い、施設の安全確保を図るとともに、避難訓練・防犯訓練等を実施して安全管理に努めます。	子育て支援課	中央保育所の避難通路の設置、工事及び付帯設備の撤去工事を行った。また、各保育所において年12回程度の避難訓練及び年6回程度の防犯訓練を実施した。	引き続き計画的な修繕や避難訓練・防犯訓練等の実施により施設の安全管理に努める。
7 保育サービスの情報提供	保育サービスに関し、広報紙や市ホームページ等での情報提供の充実に努めます。	子育て支援課	広報紙や市ホームページ等での情報提供の充実に努めた。	引き続き実施する。

		広聴広報課	広報紙や市ホームページに子育て支援情報を随時掲載した。	継続して掲載していく。	
8	保育士研修の充実	保育士の研修を充実し、保育の質の向上に努めます。	子育て支援課	障害児保育研修のほか、各種研修に参加した。	資質向上に必要な研修に参加する。
9	第三者評価制度等の活用	公立保育所において第三者評価機関による評価を行い、保育等の評価・内容を公表する「第三者評価制度」の活用や保育所入所児童の保護者からの苦情に迅速に対応する体制について調査・研究を行います。	子育て支援課	第三者評価制度の研究を行った。	導入事例の検証等さらに研究を進めていく。

主要課題（２） 待機児童の解消（P45）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 認可保育所の設置	市内の私立保育園の認可化を促進し、入所待機児童の早期解消に努めます。また、保育需要に対応した保育所の計画的整備を検討します。	子育て支援課	認可化を支援するため、補助金の交付を行った。	(仮称)駅前保育所の開所に向けた準備を進めていく。
2 認可外保育施設の充実	多様化する保育形態に対応している認可外保育施設に対し、保育内容の充実及び適正な運営が図られるよう適切な指導・助言を行います。	子育て支援課	認可外保育施設の立ち入り調査を行い、施設運営に対する指導助言を行った。	引き続き、指導助言を行っていく。
3 家庭保育室事業	保護者の就労・疾病等により、保育に欠ける乳幼児の保育を家庭保育室に委託します。	子育て支援課	市内1施設に事業の委託を行った。	事業者からの辞退の申し出により今後の事業委託は未定。
4 一時保育事業(再掲)	再掲	子育て支援課	(再掲)平成19年度に開設予定の駅前保育ステーションにおける一時保育事業の実施に向け、検討を行った。	(再掲)最も効果的な運営方法を検討する。
5 預かり保育事業(再掲)	再掲	教育総務課	(再掲)市内6幼稚園すべての幼稚園において預かり保育を実施した。(利用者延べ人数 11,107人(4園のみの合計)2園については実績数把握していないため。)	(再掲)各幼稚園における預かり保育事業を促進していく。
6 定員の弾力化による受入れ児童の拡大	低年齢児の入所希望の増加に対応するため、国が定める基準に応じ、定員の弾力化による受入れを可能な範囲で行います。	子育て支援課	国が定める基準に添った定員の弾力化による受入れを行い、待機児童の解消に努めた。	引き続き実施していく。

主要課題（３） 放課後児童クラブの充実（P47）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 放課後児童健全育成事業	保護者の就労等により放課後の保育に欠ける児童の保育を行い、子育てと仕事の両立支援を図ります。	子育て支援課	公設公営7か所、公設民営3か所の学童保育所において放課後の保育に欠ける児童の保育を行った。	公設民営学童クラブについては、指定管理者制度を導入し、保育の充実を図っていく。
2 放課後児童健全育成事業における障害児の受入れの推進	集団生活が可能な障害児についての受入れを実施していきます。	子育て支援課	集団生活が可能な障害児についての受入れを実施した。	引き続き実施していく。
3 障害児放課後児童クラブへの助成	障害児放課後児童クラブへの助成を実施していきます。	子育て支援課	三郷養護学校放課後児童クラブ「さとっこクラブ」への助成を実施した。	引き続き実施していく。

主要課題（４） 男性を含めた働き方の見直し（P49）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 意識改革及び企業等への啓発	男性を含めたすべての人が多様な働き方を選択できるようにし、働き方の見直しを進めるため、次世代育成支援行動計画を公表し、企業及び労働者の意識改革を促進します。	商工振興課	カウンター等において、啓発資料の配布を行った。	平成17年度実施状況に加え、広報やしお・商工だよりを活用したPRを実施していく。
		子育て支援課	行動計画を840コーナー及び市ホームページで公表した。	毎年度、計画の進捗状況について公表し、進行管理を行っていく。
2 子育てしやすい就業環境づくりの促進	リーフレットの配布等により家庭生活と職業生活の両立に向けた情報提供や啓発を行います。	商工振興課	カウンター等において、啓発資料の配布を行った。	平成17年度と同様に実施していく。
3 妊娠中の女性労働者等への支援	妊娠中やこれから子どもを産みたいと考えている女性労働者にとって、働きやすい職場環境となるよう就業支援についての啓発を行います。	商工振興課	カウンター等において、啓発資料の配布を行った。	平成17年度と同様に実施していく。

### 基本目標 3 次世代を育む親となるために

#### 主要課題(1) 家庭教育への支援の充実(P51)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 家庭教育学級の充実	家庭の教育力の向上を図るため、市内小中学校においてPTAを対象とした家庭教育学級を行います。	社会教育課	小中学校15校のPTAで事業を実施した。その結果、各学校で平均5.4回講座を実施し、延べ1,462人が参加した。	平成17年度と同様の事業を実施予定である。
2 子育て講座の充実	市内各小学校等において就学前の子どもを持つ保護者を対象とした子育てに関する講座を行います。	社会教育課	小学校10校で実施した。延べ746人が参加した。	平成17年度と同様の事業を実施予定である。
3 各種活動団体への支援	地域において青少年健全育成事業を行っている団体の活動を支援します。	スポーツ振興課	各種スポーツをとおして青少年の健全育成を推進している八潮市スポーツ少年団(6部会 36団で構成)に対して、活動を支援するための補助金804,000円を交付した。また、側面的支援を行った。	今後、設立予定の総合型地域スポーツクラブとの係わりも多分にあるので、補助金の交付は素より、さらに側面的支援を強めていきたい。
		社会福祉課	埼玉県青少年健全育成条例普及のため、青少年育成推進員協議会に対し事務的な支援を実施した。また、青少年育成八潮市民会議へ補助金を交付した。	埼玉県青少年健全育成条例普及のため、青少年育成推進員協議会に対し事務的な支援を実施する。また、青少年育成八潮市民会議へ補助金を交付する。
		社会教育課	八潮市子ども会育成者連絡協議会、ボーイスカウト八潮第1団、ガールスカウト埼玉27団、日本子どもチャレンジランキング連盟八潮支部、やしお子どもセンターに補助をするとともに、活動の支援を行った。	平成17年度と同様の事業を実施予定である。
4 地域の人材活用	家庭教育学級、子育て講座、出前講座等において家庭教育に関する地域の人材を活用していきます。	社会教育課	家庭教育学級、すこやか子育て講座の講師として地域の人を活用した。	平成17年度と同様の事業を実施予定である。
		生涯学習まちづくり推進課	平成17年度は、244メニューのうち、市民編62メニュー(50人)、サークル編23メニュー(21団体)、子ども編9メニュー(9人)の登録をしてもらっている。	多くの市民に出前講座の趣旨を理解していただき、登録してもらえるよう、PRに努める。

主要課題（２） 就学前教育の充実（P53）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 幼稚園教育の促進	豊かな人間性を育む幼稚園教育の振興のため、私立幼稚園への助成の充実を検討します。	教育総務課	市内幼稚園6園に対し、合計1,162,750円の助成を行った。 (内訳) 園均等割 100,000円×6園 = 600,000円 教職員割 2,500円×93人 = 232,500円 教材補充 250円×1,321人 = 330,250円	平成18年度から、助成金積算根拠の内、園均等割について100,000円から120,000円に引き上げる。
2 保育所における幼児教育の充実	公立保育所において、豊かな人間性を育むよう、就学前教育を行います。	子育て支援課	保育指針に基づき、各保育所において就学前教育を実施した。	引き続き実施していく。

主要課題（3） 学校教育の充実（P55）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 きめ細やかな学校教育の充実	交通安全教育、国際理解教育、情報教育及び福祉教育等を行い、子どもの豊かな心を育みます。また、教職員の研修を充実し、資質の向上を図ります。	指導課	きめ細やかな教育を実現するため、市費による6人の補助教員を配置し、地域人材活用では、延べ871人の協力を得た。市委嘱の研究発表、授業研究会等充実した研修を行った。	今年度は、市の補助教員7人、地域の人材活用等により、きめ細やかな教育を推進していく。研究発表会、授業研究会の充実を一層図る。
2 教育相談事業	さわやか相談員・教育ボランティア相談員による相談を行い、児童・生徒のいじめ、不登校への対応を行います。また、不登校児童生徒支援員連絡会議を充実し、関係機関との連携を図ります。	指導課	さわやか相談員3名、スクールカウンセラーに準ずる相談員1名、ボランティア相談員6名、スクールカウンセラー2名を配置し、児童生徒への支援を推進していく。	さわやか相談員3名、スクールカウンセラーに準ずる相談員1名、ボランティア相談員4名、スクールカウンセラー2名を配置し、児童生徒への支援を推進していく。
3 地域に開かれた学校づくりの推進	学校評議員制度及び学校公開を充実し、地域・家庭・学校が連携して開かれた学校づくりを推進します。	指導課	市内全小中学校に学校評議員制度が導入されている。11月の教育の日には、一斉に学校公開週間が設けられる。	今後も学校評議員制度の活用、学校公開等を通して開かれた学校づくりを推進していく。
		学務課	各小中学校において、学校評議員会議を開催し、幅広い意見をいただき学校運営に役立てた。	今後も、地域に開かれた特色ある学校作りを目指すため、学校評議員の意見を学校運営に生かしていく。



主要課題（４） 思春期保健対策の充実（P57）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 子どもの心の健康支援事業	保健センター、学校、家庭児童相談室が窓口となり、子どもの心の問題に関する相談を支援していきます。	健康増進課	電話等による相談を随時実施した。	継続して実施していく。
		指導課	各学校において、一人一人の教育相談を実施するなど、心の教育に重点を置き、子どもを支援してきた。養護教諭、相談員、スクールカウンセラー等との連携を図った。	今年度も、各担任と養護教諭、相談員、スクールカウンセラー等との連携を深めていく。
		子育て支援課	家庭児童相談室では、保健センター、保健所、児童相談所及び学校と連携し子どもの心の問題を支援した。	継続して実施していく。
2 性教育の充実	保健センターと学校が連携して性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図ります。	健康増進課	未実施	保健センターと学校の連携した取り組み方について検討していく。
		指導課	保健体育、特活、総合学習等の時間を通して、性教育を推進した。	保健体育、特活、総合学習等の時間を通して、養護教諭等と連携し、性教育を推進していく。
3 喫煙対策等の充実	児童生徒に対する喫煙防止・薬物乱用防止の啓発を行います。	健康増進課	未実施	保健センターと学校の連携した取り組み方について検討していく。
		指導課	市内全小中学校において、年1回の薬物乱用防止教室を実施した。	市内全小中学校において、年1回以上の薬物乱用防止教室を実施する。

主要課題（５） 有害環境対策の推進（P59）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 有害情報への対応	情報モラルの育成を図るために、学校教育及び青少年健全育成事業を通して、子どもたちへの支援を行います。	社会福祉課	青少年育成推進委員の活動を支援し、有害図書等について埼玉県青少年健全育成条例を遵守するよう事業者に対し周知した。	青少年育成推進委員の活動を支援し、有害図書等について埼玉県青少年健全育成条例を遵守するよう事業者に対し周知する。
		指導課	各学校から、IT活用リーダーの育成に向けて、県立教育センター研修の参加を推進した。	IT活用リーダー等を中心として、子どもたちへの情報モラル教育を推進していく。
2 受動喫煙防止対策の充実	親子連れ等が利用する施設等における受動喫煙防止対策について周知を図ります。	健康増進課	健康福祉まつりにおいて、たばこの害について啓発した。	広報等により啓発活動を実施していく。

主要課題(6) 食育の推進(P61)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 乳幼児の健康づくりの推進	乳幼児の家庭での食事を通じた健康づくりを支援するため、健康診査、乳幼児相談における個別相談及び離乳食教室において食育を行います。	健康増進課	離乳食教室を12回(371人参加)開催した。また、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査及び健康福祉まつりにおいて、媒体(絵カード、紙芝居等)を利用し食育指導を実施した。	継続して実施していく。
2 児童の健康づくりの推進	健康な心身と良い食習慣を形成するため、保育所、学校の給食時間や総合学習において食育を行います。また、給食献立表や給食だより等により、保護者に対し食に関する情報を提供します。	学務課	学校保健委員会、食育推進校調理実習、給食試食会での講習、献立表(11回)、給食だより(3回)にて食に関する啓発を実施した。また、給食時の学校訪問における栄養指導や小松菜イベント(6校)小学校総合的な学習の時間での指導等を行った。	地場産物の給食使用、献立表、給食だよりの発行、給食時の学校訪問、食育推進校での調理指導、小松菜イベント等、17年度と同様の実施を予定している。
		子育て支援課	野菜の栽培や調理体験などを保育計画に組み入れて食育を行った。また、献立表、給食だよりで保護者への食に関する情報の提供や児童館で食に関するミニ講座を実施した。	継続して年長児の調理体験等を実施していく。

## 基本目標 4 子どもが健全に育つために

### 主要課題(1) 子どもの社会性の向上(P63)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 乳幼児とのふれあい体験の充実	小中学生等が子どもを生き育てることの意義を理解し、子どもや家庭の大切さを理解できるようにするため、乳幼児とふれあう事業の充実を図ります。	健康増進課	母子愛育班連合会事業「赤ちゃんとおそば」に協力した。(市内小学校2ヶ所で実施、小学2年生216人参加)	継続して実施していく。
		指導課	中学生による社会体験チャレンジ事業や家庭分野の授業において、保育所でのふれあい体験を実施した。	今後も実施していく予定である。
		子育て支援課	保育所において中学生の3Daysチャレンジの受け入れを行い、乳幼児とのふれあいの機会を創出した。	継続して実施していく。
2 こどもエコクラブ活動の推進	子どもたちが将来にわたり環境を大切にする意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を学習していく機会を提供するための環境学習事業の支援を行います。	環境課	全国事務局で作成している冊子等の配布を行った。また、綾瀬川みんなで水質調査(国土交通省主催事業)を7/22に実施し、10名の参加があった。	17年度と同様に実施していく。
3 児童館等事業の充実	地域の児童の健全育成を図るため、児童館及び児童室における事業の充実を図ります。	子育て支援課	だいばら児童館及びやわた児童室において各種事業を実施し、児童の健全育成を図った。	引き続き事業の充実を図っていく。(やわた児童室は、平成18年4月から休室)
4 子どものためのスペースの充実	やしお生涯学習館児童室、保健センタープレイルーム、八條公民館ちびっこコミュニティルームを開放し、子どもの安全な遊び場を提供します。	健康増進課	プレイルームの開放事業を47回(毎週水曜日)行い、812人の利用があった。	継続して実施していく。
		生涯学習まちづくり推進課	小学校3年生までの児童・幼児を対象に、無料で、スペースの開放をしている。また、無償で寄付された玩具なども使用し、遊べるようになっている。	今後も、児童・幼児が気軽に利用できる空間・スペースとして、開放する。

		社会教育課	年末年始の閉館を除く毎日八條公民館ちびっこコミュニティールームを開放し、安全な遊び場の提供に努めた。	17年度と同様に実施していく。	
5	公園の管理及び整備	街区公園の整備や老朽化に伴った遊具の撤去や補修を行い、公園の整備・充実を図ります。	都市デザイン課	鶴ヶ曾根東児童公園、大瀬もみの木公園を新たに開設した。また、バリアフリー化による公園出入口段差解消(中馬場児童公園、中馬場児童交通公園、苗間児童公園)や他10公園の遊具の補修、老朽化に伴う遊具撤去(八条親水公園他1公園)を行った。このほか砂場犬猫防止柵設置は大原公園他4公園で実施した。	公園出入口段差解消(H18年度実施予定:伊草西児童公園、大原児童公園 真孤田児童公園、H19年度実施予定:伊勢野わかば公園、伊勢野ふれあい広場大曾根西中央公園公園)、トイレ水洗化(H18年度実施予定中馬場児童交通公園)を行うほか、公園遊具補修を安全管理のため遊具の状況に応じて実施していく。
6	子ども向け事業の充実	子どもの活動の場や機会を創出するために自然とのふれあい体験、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、郷土の歴史や文化とのふれあい活動等子どもが参加できる事業の充実を図ります。	スポーツ振興課	児童対象の「スポ・レク教室」(5回開催、25名参加)及び幼児と親を対象にした「親子体操教室」(6回開催、14組参加)を行った。また、毎週土曜日に児童対象に体育室を無料開放(43回開催、延べ790名参加)した。	今後も、児童等を対象に同様のスポーツ教室を実施していく。ただし、体育室の無料開放は隔週の土曜日に実施する。
			社会福祉課	青少年育成八潮市民会議との共催により、親子名作映画会、アフレコ体験講座、青少年主張大会を実施した。	青少年育成八潮市民会議の活動を支援する。
7	子ども週末活動等の支援	子ども体験教室、子ども土曜広場事業を行い、学校週5日制の導入に伴う子どもの週末活動を支援します。	社会教育課	やしお子ども週末活動実行委員会を組織し、会議を開催するとともに、小学校の校庭を、第1、第3土曜日の午前中に子どもの居場所として開放するやしお子ども土曜広場を延べ47回開催し、延べ2,859人が参加した。また、公民館を活用し子どもの体験教室を延べ8回開催し、延べ375人が参加した。	平成17年度と同様の事業を実施予定。

主要課題(2) 子どもの安全の確保(P65)

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 こどもひなんじょ事業	「こどもひなんじょ」の充実を図り、地域の市民・学校・保護者等が連携して通学路等の安全確保に努めます。	指 導 課	市内640の「こどもひなんじょ」の設置協力者により、安全確保が図られている。	今後も「こどもひなんじょ」との連携を図っていく。
2 交通安全施設整備事業	安全な道路交通環境を確保するため、ガードレール・カーブミラー等交通安全施設の整備を行います。	交通防災課	カーブミラー一面鏡を16基、二面鏡を12基設置した。	前年度並に実施予定である。
		道路治水課	実績なし	道路整備の際、必要に応じて設置予定である。
3 点字ブロック整備事業	視覚障害児(者)の社会参加を容易にし、交通安全の確保を図るため、点字ブロックの敷設工事を行います。	道路治水課	平成17年度8か所の整備を行った。(歩道段差解消事業の際、当該箇所が必要に応じて設置)	歩道段差解消事業の際、当該箇所が必要に応じて設置予定である。
4 交通安全教育の充実	子どもたちを交通事故から守るため、関係機関と連携して保育所や学校・地域における交通安全教育の充実を図ります。	交通防災課	交通安全教室を実施した。(延開催回数32回 参加者 7,252人)	前年度並に実施予定である。
5 チャイルドシート使用の普及・啓発	交通事故から乳幼児の生命を守るため、交通安全運動実施期間等においてチャイルドシート使用の普及・啓発事業を行います。	交通防災課	春、夏、秋、年末の交通安全運動の期間中に用の徹底を図った。	前年度並に実施予定である。
6 歩道段差解消事業	障害者・子どもの自転車・ベビーカー等の通行環境を整える歩道段差解消工事を行います。	道路治水課	平成17年度8か所の整備を行った。 平成17年度末整備率 80.3%(整備済118か所/整備対象か所147か所)	未整備箇所29か所を8か所/毎年度で実施予定である。

<p>7 通学路における安全確保の充実</p>	<p>学校の登下校時において児童生徒が交通事故や犯罪に遭わないよう、交通指導員の充実に努めます。</p>	<p>交通防災課</p>	<p>登下校時における立哨活動を行った。 登校時 延べ 5,738人 下校時 延べ 499人</p>	<p>前年度並に実施予定である。</p>
-------------------------	--	--------------	--	----------------------

主要課題（3） 子育てを支援する住環境の整備（P67）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 母子世帯向け市営住宅の確保	住宅に困窮している母子世帯の住宅確保を支援するため、市営住宅抽選倍率優遇措置を行います。	建築課	市営住宅抽選倍率優遇措置を42世帯について行い、1世帯が入居した。	引き続き母子世帯向け住宅4戸を確保するとともに、抽選倍率優遇措置を実施していく。
2 市営住宅建替による居住環境の拡充	老朽低層住宅の中層化建替をする中で、居住環境の拡充を検討します。	建築課	なし。	建替までの間は修繕等により対応していく。
3 子育て世帯への情報提供	乳幼児を連れて外出する際の遊び場や子ども連れに優しいトイレの設置状況など、子育て支援に関する様々な情報の提供を充実していきます。	子育て支援課	子育て世帯が利用する公共施設等に子育て支援に関するチラシ等を設置し、情報提供に努めた。	引き続き様々な情報提供を行っていく。
4 子育てに配慮した施設整備の推進	乳幼児連れの親が安心して利用できるように、子育てに配慮した施設整備の改善に努めます。	子育て支援課	子育てに配慮した施設整備の改善が必要な施設の調査を行った。	施設改善について所管課に働きかけていく。
5 子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	新たな公共施設等の建設に当たり、子育て世帯に配慮したトイレ等の施設整備を行います。	子育て支援課	新たな公共施設等の建設に当たり、子育て世帯に配慮した施設整備を行うように依頼した。	引き続き、新規施設の建設時に依頼する。



主要課題（４） 子どもの人権の尊重（P69）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 人権相談事業の推進	人権擁護委員等による相談を実施していきます。	総務人事課	毎月1回人権相談を実施し、7件の相談があった。	今後も同様に実施する。
2 人権教育の推進	子どもの保護と基本的人権の尊重を促進するため、家庭、学校、地域の連携により、人権教育の充実を図ります。	総務人事課	主任級職員研修において、人権問題(半日)を取り上げた。(14人受講)	今後も同様に実施する。
		社会教育課	各学校で実施したPTAの家庭教育学級で人権講座を開催した。また、人権標語を作成したり、人権ビデオを購入し、啓発に努めた。	平成17年度と同様の事業を実施予定である。
		指導課	市内全小中学校において、各校2回、人権教育研修会を実施した。8月2日には、全教職員を対象に、人権教育研修会を実施した。人権文集「いちよう」を発行した。	今後も各学校における人権教育研修会、全体研修会を充実させていく。
3 八潮市子ども憲章の推進	八潮市に生まれ育つ子どもたちの心身ともに健やかな成長を願い、「八潮市子ども憲章」の普及・啓発を図ります。	指導課	健康・命、思いやり、家族、夢・希望、環境を大切に、「子ども憲章」を全教育活動を通して、推進した。	今後も「子ども憲章」を八潮の教育の中心に据え、推進していく。

主要課題（５） 男女共同参画の推進（P71）

事業名	事業内容	担当課	平成17年度実施状況	今後の実施予定等
1 第2次八潮市男女共同参画プランの推進	男女共同参画を推進していくため、第2次八潮市男女共同参画プラン進捗状況について評価・検討を行うとともに意識啓発の充実を図っていきます。	男女共同参画課	「第2次八潮市男女共同参画プラン」の進行管理を実施した。	平成20年度「第3次八潮市男女共同参画プラン」を策定する予定である。

は重点施策